

令和4年第5回
総務文教常任委員会

所管事務調査報告

期 日：令和4年8月19日(金)
14:00～15:30
場 所：国見町役場3階中会議室
調査内容：令和4年度所管事務調査

(1)ほけん課所管事務調査

- ・新型コロナウイルス感染症の動向について
- ・町内での感染状況の推移
- ・今後の見通しと対応
- ・ワクチン接種について

出席者：総務文教常任委員6名、傍聴議員2名
説明者：ほけん課長

国見町議会

ページ

八島博正委員長……………	3
浅野富男委員……………	4
松浦常雄委員……………	6
山崎健吉委員……………	9
穴戸武志委員……………	11
蒲倉孝委員……………	13

令和4年第5回総務文教常任委員会 所管事務調査報告書

令和4年9月8日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 八島博正

【日時】 令和4年8月19日 午後2時00分～午後3時30分

【会場】 国見町役場3階中会議室

【内容】 ほけん課所管事務調査

- 1) 新型コロナウイルス感染症の動向について
- 2) 町内の感染状況と今後の見通しと対応について
- 3) ワクチン接種について
- 4) その他

以上の内容についてほけん課長安藤充輝氏より説明を受け、その後質疑をした。

なお、佐藤定男及び渡辺勝弘両議員がオブザーバー出席した。

【感想】

- ① 7波の感染者数が過去最大になっている。
(7月45人に対し8月半ばで189人が感染)
今日(9月8日)も感染者が発表されており、収束の見通しが立たない現況である。
- ② 職員の感染も発表され、今迄より多いのではないか。
- ③ ワクチンの接種が4回目は44.5%と低い。
接種率をもっと上げる様PRが必要と思う。

以上

令和4年第5回総務文教常任委員会 所管事務調査報告書

令和4年9月4日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 浅野富男

【調査内容】ほけん課所管事務調査

日時 令和4年 8月19日(金) 14:00～

場所 国見町役場3階中会議室

新型コロナウイルス感染症が世界で確認されてからもはや3年を超える期間が過ぎたことになるが、国内では第7波と言われるような事態となっている。このような事から常任委員会として、町ほけん課より「新型コロナウイルス感染症」についての報告を受けることとした。

まず、福島県としての動向であるが、感染者数では10万人を超え、うち死者は235人との報告である。注目は自宅療養者15,850人、病床使用率55.4%という数値は医療体制の逼迫度がかかなり高いものと思われる。県はこの後、重症化リスクの少ない方を対象として、医療機関での受診は経ずに陽性者として登録する「福島県陽性者登録センター」を設置した。

本町での状況では、これまでの統計が示されたが今年になって、8月の新規感染者は83人を数えるに至っている。感染の拡大が早く、特に10代での感染はこれまでの対策の表れなのか最大で2割を超えている期間もある。重症化リスクが高いとされる70代は、自ら感染を重視しているためか2番目の数値となっている。

今後の見通しと対応については、国、県の方針に沿うことになる。濃厚接触者の待機期間は5日に短縮。また抗原検査キット配布については、医療機関への負担軽減と感染の早期探知のために、自己検査による対応とする。電話やwebで配布センターへの申し込み、或は町内の薬局での検査など制度を利用すること。自宅療養者については、県と市町村での連携を基に高齢者と重症化リスクのある方の健康観察を実施し、町へは住所、氏名、性別、人数の情報が提供されるこ

とに。

ワクチン接種の状況では、4回目接種実績で対象者の44.5%の方が済み、予約者の数では82.7%まで進んでいるとのこと、また現在言われているところのオミクロン株に対応するワクチンの接種については、従来型と混同されないようにすることが留意点として示されています。

【感想】

改めて「ウイルスと人類の戦い」について学ぶことになったが、「目に見えない相手」であることがやはり難関である。人類史上ではウイルスとの戦いは何度か経験しているが、終息に至ったものは何種になるのだろうか。新型コロナについても感染を拡大させない手段はいずれ確立されるだろうが、そのための積極的な取り組みが、国にしても県にしても示されていない。町からの報告でも自己責任で防衛することが強調されているのではないかと思われる内容であった。現在経済政策に重点が置かれたコロナ感染対策となっているようだが、第7波以降の数字は出ないように、特に医療機関が疲弊しないように当局は対応することが必要ではないか。

以 上

令和4年第5回総務文教常任委員会 所管事務調査報告書

令和4年8月30日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 松浦常雄

1 調査の目的、日時、出席者

- (1) 目的：新型コロナウイルス感染症の動向について
- (2) 日時：令和4年8月19日 午後2時～
- (3) 場所：役場三階中会議室
- (4) 出席者：議会 総務文教常任委員6名、傍聴議員2名（佐藤、渡辺）、
石澤議会事務局長補佐
説明者：安藤充輝ほけん課長

2 新型コロナウイルス感染症の動向について

- ①福島県内の感染者の状況について（令和4年8月9日現在）
 - ・陽性者数：104,996人、（うち死亡者数 235人）
 - ・入院者数：415人 うち重傷者数3人、宿泊施設入所者数361人、
自宅療養者数 15,850人 療養者数（合計）16,626人
 - ・退院・退所者数 88,370人
 - ・病床の状況 即応病床数 745床、確保病床数 749床、緊急時最大
821床、うち重傷者用病床数45床、病床使用率 55.4% うち重
傷者用病使用率6.7% 宿泊療養確保室数（稼働室数）1,547室
- ②BA・5対策強化宣言について（急速な感染拡大が続き、医療への負荷が増
大しているため）
 - ・期間：8月12日～31日
- ③福島県医療非常事態宣言について（理由：②BA・5対策強化宣言に同じ）
 - ・期間：8月12日～31日（② BA・5 非常事態宣言に同じ）
 - ・注意すべき9つのポイント：（基本的な感染対策の再点検と徹底、感染し
た場合の備え、速やかなワクチン接種、検査のさらなる活用、効果的な換
気、移動時の注意喚起、子供と高齢者の感染対策、事業所での感染対策、
医療を守る対策の強化）

3 町内での感染状況の推移（別紙説明資料：年代別の感染者数と比率）

4 今後の見通しと対応について

①濃厚接触者等の待機期間の短縮等について（7月22日の厚労省通知）

- ・待機期間を原則5日間とする（現行は、7日間）
- ・抗原検査キットで2日目、3日目の陰性が確認できれば、3日目から解除可能とする。

②濃厚接触者・有症状者への抗原定性検査キットの配布について（7月27日の県の通知）

（目的）自己検査による医療機関の負担の軽減と感染の早期探知により感染拡大の抑制を図る。

（期間）7月29日～10月31日まで

（対象）県内在住の濃厚接触者、有症状者で配布を希望する人

（申込先）新型コロナキット配布センターに申し込み（webかTEL）

（配布量）1日当たり最大5,000本（当初は1,500本）

（備考）陽性となった場合は、医療機関に相談・受診すること

※町内の薬局での検査も継続している

③自宅療養者に対する県と市町村の連携について（7月27日の県の通知）

- ・オミクロン株の特性（潜伏期間と発症間隔が短い、重傷化率が低い）を踏まえ、健康観察を高齢者や重症化リスクのある人に限定して実施していく
- ・これまで市町村が行っていた感染者への支援を民間委託して、県が直接配送するシステムに変更
- ・町へは、夕方までに感染者の人数、性別の情報提供。翌日に氏名と住所について情報提供

5 ワクチン接種について

①町民の接種実績（8月15日現在）

	接種者数	摂取率	摂取率（全人口）	
3回目	6,681人	82.4%	77.7%	福島県70.3%
4回目	1,907人	44.5%	22.1%	—

②4回目接種の予約状況（8月15日現在）

- ・一般の予約者数 3,540人（接種券発送数 4,281人）
82.7%

※ 4月30日までに3回目を完了した方に接種券を発送

③オミクロン型対応ワクチンについて（Q&A）

6 調査の結果

- ①グラフにより、新規陽性者数、入院患者数、病床使用率及び、入院患者数、重症者 用病床使用率等の推移の状況を理解することができた。
- ②オミクロン株BA・5への置き換わりが進み、感染者数が、過去最多を更新するなど、第7波の状況が理解できた。
- ③県内の感染状況だけでなく、町内の年代別感染状況もよく理解できた。
- ④町民のワクチン接種状況を知ることができた。
- ⑤8月12日に県が出した「BA・5対策宣言及び、医療非常事態」についてその背景と内容を知ることができた。

以 上

令和4年第5回総務文教常任委員会 所管事務調査報告書

令和4年8月29日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 山崎健吉

【内容】

(1)新型コロナウイルス感染症の動向について

福島県における新型コロナウイルス陽性者の累計は、8月9日現在、約104千人、死亡者は235名・性別ではほぼ同数であるが、年代別では10才未満が約18千人、続いて10代が約16千人と若年者の感染率が高い傾向にある。

(2)町内での感染状況の推移

当町の感染状況は、令和2年12月に初めて確認され、令和3年12月までの1年間で28人の陽性者が発生した。今年に入り、1月には月間31人が確認され、その後うなぎ上りで確認され、8月19日現在で、累計308人が陽性者としてカウントした。現時点では、落ち着く状況は見えない。

(3)今後の見通しと対応

濃厚接触者等の待機期間の短縮については、現行7日間を原則5日間とする。

抗原検査キットで2日目、3日目の陰性が確認されれば3日目から解除可能とする。

新型コロナウイルス感染者急増により医療機関の診療体制がひっ迫しており、重症化リスクの高い方が適切に医療機関を受診できる体制を確保するため、重症化リスクがない方を対象に、医療機関への受診を経ずに陽性者として登録する「福島県陽性者登録センター」を8月22日から新たに福島県が設置し医療機関のひっ迫を解消する。

(4)ワクチン接種について

新型ワクチンの接種による発病予防効果や重症化予防効果は、時間の経過に伴い徐々に低下していくことが示唆されている。一方で3回目接種に

よって、低下した予防効果が高まると報告されている。新型コロナウイルス感染症者は高齢化ほど重症化しやすいことが判明しており、4回目接種により、より高い予防効果が得られることから、60才以上の方、60才未満で疾患を有する方、医療機関等に従事している方やまだ接種していない方は速やかな接種をお願いしたい。

【感想】

国見町における感染者数も、第6波(1月~6月)では115名確認されている。又7月では45名・8月は15日間ですでに83名が確認されている。当町も若年層の発症率が多い。いつ、だれが感染するかもわからない病原体である。これからも、1人ひとり「新しい生活様式」を守り、感染防止に努めたい。

以 上

令和 4 年第5回総務文教常任委員会 所管事務調査報告書

令和 4 年 8 月 31 日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 穴戸武志

【調査内容】ほけん課所管事務調査

～新型コロナウイルスについて～

- 1, 新型コロナウイルス感染症の動向について
- 2, 町内での感染状況の推移について
- 3, 今後の見通しと対策について
- 4, ワクチン接種について

【日時】 令和 4 年 8 月 19 日（金）午後 2 時

【場所】 中会議室

当町も BA5 新型コロナウイルスの拡大により、8 月に入り急速に感染者が増えた。8 月半ばで 83 人、町累計でも 308 人（8 月 19 日現在）になった。それを踏まえて調査の機会が設けられた。

【内容】

ほけん課長より説明

調査内容 1 については全国で感染者数が急拡大している。地域は関係ない。原因に BA5 新型コロナウイルスの存在が大きい。2 の当町の感染者の推移は 8 月になり急拡大している。3 については①濃厚接触者等の待機期間の短縮②濃厚接触者・有症状者への抗原定性検査キットの配布。③自宅療養者に対する県と市町村の連携強化。4 の当町のワクチン接種率は 3 回目 82%（対象者）・4 回目 44%。4 回目予約状況は 82%となっている。

【感想】

- 1, コロナ疲れが見えている。又、世界の潮流に合わせこのウイルスとの共存を図るべきである。

- 2, 対象者はワクチン接種を極力打つ。重症化を防ぐ。
- 3, 重症化し易い高齢者・基礎疾患のある方については十分フォローする。
- 4, 新型コロナウイルスの特効薬がでるまでは、この状態が続くと覚悟する。

以 上

令和4年第5回総務文教常任委員会 所管事務調査報告書

令和4年9月6日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 蒲倉孝

【調査日時】 令和4年8月19日(金) 14:00~15:30

【協議場所】 役場 3階中会議室

【協議事項】

- ① 新型コロナウイルス感染症の動向について
 - 福島県の感染状況…陽性者(104,996人-内死亡者235人)
 - BA5対策強化宣言…8月12日~31日(福島県)
 - 福島県医療非常事態宣言…医療体制が危機的な状況
- ② 町内での感染状況の推移
 - 8月15日現在の累計感染者数…271人
 - 第6波(R4/1~6)…115人
 - 7月のみ…45人
 - 8月累計(15日まで)…83人 (8/18累計-308人)
⇒第7波は、第6波を上回るスピードと感染拡大
- ③ 今後の見通しと対応
 - 濃厚接触者等の待機期間の短縮(7/22厚労省通知)
⇒7日間から5日間
⇒抗原検査キットで2日目、3日目の陰性が確認できれば
3日目から解除可能
 - 濃厚接触者・有症状者への抗原定性検査キットの配布
⇒期間 (7月29日~10月31日まで)
⇒配布量 (1日当たり最大5,000本)
 - 自宅療養者に対する県と市町村の連携(7/27県通知)
⇒支援は民間委託し、県が直接配送するシステムに変更
⇒町への情報提供
夕方までに感染者の人数、性別
翌日、氏名および住所
- ④ ワクチン接種について
 - 3回目…6,681人(接種率-対象者 82.4%)
 - 4回目…1,907人(接種率-対象者 44.5%)

➤ 4回目の予約状況…3,540人(82.7%)

⑤ その他

➤ 福島県陽性者登録センターの設置(8/19 夕方発表情報)

【所感】

- ・ 重症者は減少しているが、感染力の強いBA5 ワクチン接種が急務。
- ・ 飲み薬等が開発されるまで、「うつらないーうつさない」の感染対策を徹底する事が必要。

以上